

| 会議記録書 | |
|-------|---|
| 会議名 | 第38回草津市図書館協議会 |
| 日時 | 令和5年7月3日(月) 14:00～15:30 |
| 場所 | 草津市立図書館 3階 大会議室 |
| 出席者 | 岸本会長、高山副会長、奥村委員、木戸脇委員、山崎委員、田中委員 事務局（二井館長、加藤副館長、大西副館長、岸本主任） |
| 傍聴者数 | 1名 |
| 記録作成者 | 図書館 岸本 |

1. 教育長挨拶

新型コロナウイルス感染症は草津市立図書館にも影響を及ぼした。昨年度は南草津図書館が開館20周年、今年度は本館が40周年を迎える。本館も南館同様に児童書の更新、講演会の開催を実施する。また、小型移動図書館を購入し、図書館アプリを導入する。UVカットフィルムの貼付し、館内のブラインドを上げ、開放的で明るい読書スペースを整備する。また、2階に学習スペースを開設する。読書ポイント事業の実施、就学前施設との連携等によって、市域全体での読書活動の推進に取り組む。昨年度および今年度の周年記念事業を通して、目指す図書館像である「さらに、市民の図書館へ」の実現に向け取り組む。委員の皆様には、本日の図書館協議会が有意義なものとなるよう、活発な御議論や御意見をいただきたい。(藤田教育長)

2. 開会挨拶

本日は40周年記念事業についての進捗報告と昨年度実施の図書館利用者アンケートの結果報告を行う。委員の皆様には忌憚ない意見を頂きたい。また、小学校・中学校代表の角委員、江竜委員が3月末で退職され、今年度から、新たに小学校代表として木戸脇委員、中学校代表として奥村委員にメンバーとして加わっていただいた。よろしく願いたい。今期の図書館協議会委員の任期は令和5年8月31日までである。任期2年間の間、草津市図書館の発展のため、館長の諮問機関として、多大なる御尽力を賜りましたこと、この場をもってお礼申し上げる。(二井館長)

3. 議題

(1) 草津市立図書館40周年記念事業について

【草津市立図書館40周年記念事業について】

- ・7月9日(日)11時から1階児童コーナーリニューアル記念除幕式を開催する。
- ・市長・教育長・館長によるテープカットを行い、新しくなった絵本コーナーの披露を行う。
- ・書架やカーペットの更新や、世代を超え愛されてきた定番絵本等の更新を行う。
- ・除幕式終了後、40周年記念として、定番絵本の読み聞かせを行う。
- ・図書館のガラス壁面にUVカットフィルムを貼り、ブラインドを開放する。
- ・学習スペース“学-being(まなびーいんぐ)”を7月21日(金)から開始する。開館日に利用可能。利用には図書館の資料貸出券が必要。フリーWi-Fiと電源が利用可能。
- ・図書館アプリ”くさつLib-mile”が7月1日リリース。
- ・絵本作家さいとうしのぶさんのワークショップ&絵本ライブを草津市立図書館で開催する。
- ・11月3日(木・祝)には、一般向け記念講演会を草津市立図書館で開催する。講師は東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授。

- ・12月17日(日)には、作家の中野順哉氏をお招きし、声優朗読劇を開催。中高生で構成された実行委員が運営する。
- ・周年記念デザイン記念品を準備中。
- ・11月に市内の小中学生を対象に読書ポイント事業を実施予定。現在、企画整理中。
- ・読書スペース事業を実施する。UVカットフィルムを図書館のガラス壁面に貼り、1階のブラインドを上げる。防犯カメラ設置、敷地内植栽等の整備工事を行う。
- ・就学前施設連携事業を実施する。市内の就学前施設（公立・私立）への団体貸出券の案内や、当該施設の保育士等を対象とした絵本の読み聞かせ研修会を12月21日（木）に実施する。
- ・学校支援事業を教育総務課が実施。

【委員意見】

- ・就学前施設連携事業について、民間である私立の幼保こども園も対象であるのか。
 - 回答：私立も対象である。市内就学前施設の約80施設に絵本の読み聞かせ研修会の案内を配布する。研修会は草津市立図書館本館で実施する。検討中であるが、研修会参加者に修了証書を配布予定である。
- ・“学-being(まなびーいんぐ)”では、利用者が他にいない場合、2時間以上連続して利用できないのか。
 - 回答：運用開始時点では、2時間以上連続利用はできない。実際の利用状況や利用者の意見を考慮し、今後、運用ルールを修正する等、柔軟に対応していく。
- ・読書ポイント事業について、小学生が学校で貸出券だけ作成し、図書館を利用しない可能性がある。その対策はするのか。
 - 回答：初年度は11月の読書週間に合わせて1か月間、読書ポイント事業を実施する。学校図書館や草津市立図書館、3学期からの移動図書館車で読書ポイントを進呈する予定。達成感をもたせるためスタンプカードは3～5ポイントで埋まるようにする。
- ・11月の読書週間では、各学校の図書委員が様々な企画を実施する。生徒の自主的な取り組みを尊重しながら、生徒がやっている企画と読書スタンプ事業がかぶらないように各学校と調整をしてほしい。
 - 回答：検討する。
- ・読書ポイント事業について、読書をしっかりとできない子どもをどう救うかが本来の大きな課題である。もっと議論を重ねて、しっかり本を読む子どもになるように働きかけてほしい。
 - 回答：まずは、本を手取る環境にない子どもたちに読書のきっかけづくりがしたい。家庭で読むことができなくても、学校で読むことができるという環境づくりがしたい。その次に、本をしっかり読める子どもにするべく働きかけをしたい。司書の適切な手助けを経て、子どもが本に出合えるように図書館で支援をしたい。

(2) 令和4年度図書館利用アンケートの結果について

【令和4年度図書館利用アンケートの結果について】

- ・今年の1月頃に実施した「利用者アンケート」は522件の回答があった。
- ・アンケート用紙での回答とWEB回答の割合はそれぞれの半分程度の割合であった。
- ・「開館時間」について、「やや不満」「不満」と回答した年代の分布について、40代23%・50代33%、60代23%であった。自由意見は「開館時間を早く」「閉館時間を遅く」が同数程度であった。
- ・「休館日」について、「やや不満」「不満」と回答した年代の分布について、50代26%・70代25%であり、回答者の少ない10代と20代から計7%の回答があった。

- ・「予約リクエストサービス」について、「満足」「おおむね満足」は昨年度と同じ68%であった。主な自由意見は「予約やリクエストをWEBで行いたい」というものであった。WEBサービスが充実すれば、利用者にとって利便性が向上するが、来館利用者への影響（欲しい本が先取りされる）が最も懸念される。WEB予約サービスを実施している図書館では、無断キャンセル（置き置き期限までに来館しない）、来館者優先が理解されづらい、資料確保連絡を待たずに来館される等、の問題がある。他市事例を収集して、慎重に検討する。
- ・「館内の読書環境」について、満足度が低く、自由意見も多い項目である。主な自由意見は「明るさ」と「席数」であった。本館については、40周年事業の中で読書環境改善を行う予定である。
- ・「WEB等での情報提供・検索方法」について、「満足」「おおむね満足」が10%増加した。その要因は回答者の増えた10代の24人中21人が「満足」「おおむね満足」を選んでおり、割合が底上げされたことであると考えられる。10代、20代向け広報として行っているインスタグラムでは、よりターゲット層を絞った記事展開を考えていきたい。

【委員意見】

- ・休館日について、両館、祝日開館している日はあるのか。
 - 回答：祝日は両館とも休館している。ただし、本館は11月3日のみ特別開館している。図書館まつりを開催していた。今年度は40周年セレモニーや記念講演会、その他イベントを開催予定である。祝日開館については、今後、検討や対応が必要と考えている。
- ・11月3日は文化の日であるので、博物館や美術館が無料開館のことが多い。この日に開館しても、競合する公共施設が多いため、11月3日以外の祝日に開館する方が良いのではないか。
 - 回答：文化の日であるからこそ、11月3日に開館している。利用者がよりよく図書館を利用できるよう最善を尽くす。
- ・アンケートの質問において、「レファレンスサービスを知っていますか」、「乳幼児サービスを知っていますか」という設問に対して、満足、不満足という回答では整合性が取れていないのではないか。認知度調査ではなく、利用調査の方が良いのではないか。レファレンスサービスの認知度を調査した後に、レファレンスサービスを利用している人に対して満足度調査をする方が良いのではないか。設問をについて改善を検討してほしい。
 - 回答：設問を改善する。
- ・予約の取り置きについて、WEBで本を予約して取り置きするのは良いが、図書館では基本的に本が1冊しかないので、本が予約、取り置きされることで、図書館に来た人がその本を読めない、その本が読まれる選択肢から外されてしまうという問題がある。予約、取り置きされたにも拘らず、結局利用されないということもある。そういった問題もあるので、単に利便性だけをもって推奨するのではなく、多面的に考えて予約制について検討してほしい。
 - 回答：慎重に検討する。
- ・南草津図書館20周年事業の総合評価について、南草津図書館20周年の評価を見ていると普通という答えが多く、利用者に対して、20周年事業の広報が不十分であったのではないか。今年度の本館40周年においては、学生をはじめ、市民への広報を十分に実施してほしい。
 - 回答：十分に実施する。
- ・解消できる自由記述意見の要望について、このように対応した、改善した、ということを利用者に対して情報発信し、アピールをしてほしい。アンケートを通じて、利用者の意見が反映されたということを明らかにしてほしい。そして、解消できなかった要望について整理してほしい。
 - 回答：毎年、図書館協議会委員意見や利用者アンケートの結果を踏まえて、検討し、公表している。読書のまち推進計画、40周年記念事業でも利用者アンケート等を参考に何を実施すべきか等について検討している。具体的には、絵本のリニューアル、読書スペースの創出、移動図書館車の増台等である。図書館協議会や利用者アンケート実施によって、より良い図書館に向けた事業を実現することができている。今後も将来を見据えた事業を実施していきたい。

・自由意見に「大量の雑誌の付録は処分してください。」とあるが、環境保全の観点から処分するのではなく図書館まつり等で配布する等利用者に還元してはどうか。

→回答：過去に図書館まつりで配布を試みましたが、利用者同士でトラブルとなった事例があり、配布を中止した。今後は福袋企画でのプレゼントとして配布する等検討する。

・職員対応に対する満足度について、満足度が高いが、不満足と答えている意見に注目し、より良い対応を目指してほしい。

→回答：職員一同、より良い対応を心掛ける。

3. その他連絡事項

【事務局より】

- ・図書館協議会委員の任期について
- ・次回の協議会は令和5年度11月から12月頃の滋賀県公共図書館協議会主催の図書館協議会交流会

(終了 午後3時30分)